

(権大納言と大将を兼任している人がいた。二人の妻に男の子と女の子が生まれた。二人はたいそう美しく、容貌は瓜二つであった。)

いづれもやうやう大人びたまふままに、若君はあさましようもの恥ぢをのみしたまひて、女房などに、すこし御前遠きには見え  
たまふこともなく、父殿をもうとく恥づかしくのみ思して、やうやう御文習はし、さるべきことどもなど教へきこえたまへど、思し  
もかけず、ただいと恥づかしとのみ思して、御帳のうちにのみ埋もれ入りつつ、絵かき、雛遊び、貝覆ひなどしたまふを、殿はいと  
あさましきことに思しのためはせて常にさいなみたまへば、果て果ては涙をさへこぼして、あさましようつつまじとのみ思しつ、た  
だ母上、御乳母、さらぬはむげに小さき童などにぞ見えたまふ。さらぬ女房などの、御前へも参れば、御几帳にまつはれて恥づかし

いみじとのみ思したるを、いとめづらかなることに思し嘆くに、また姫君は、今よりいとさがなくて、をさをさうちにもものしたま  
はず、外にのみつとおはして、若き男ども、童などと、鞠、小弓などをのみもて遊びたまふ。御出居にも、人々参りて文作り笛吹き  
歌うたひなどするにも、走り出でたまひて、もろともに、人も教へきこへぬ琴笛の音もいみじう吹きたて弾き鳴らしたまふ。ものう  
ち誦じ歌うたひなどしたまふを、参りたまふ殿上人、上達部などはめでうつくしみきこえつつ、かたへは教へたてまつりて、この御

腹のをば姫君ときこえしは僻事なりけりなどぞ、皆思ひあへる。殿の見あひたまへる折こそ取りとどめても隠したまへ、人々の参る  
には、殿の御装束などしたまふほど、まづ走り出でたまひてかく馴れ遊びたまへば、なかなか制しきこえたまはねば、ただ若君との  
み思ひても興じうつくしみきこえあへるを、さ思はせてのみものしたまふ。御心のうちにぞ、いとあさましく、かへすがへす、  
とりかへばやと思されける。

注1、さるべきことども…男性に必要な教養など 2、御出居…客と対面する座敷  
問一 傍線部一〜三の漢字の読みを現代仮名遣いで書け。(各一点)  
問二 傍線部四〜六の語句の、本文中の意味を次の選択肢の中から一つずつ選べ。(各一点)  
四、あさましき  
五、さらぬは  
六、さがなくて

問三 傍線部アの意味として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。(二点)  
あ、侍女などにさえ、すこし離れたところにいる者にはお顔が見えることもなく、  
い、侍女などにさえ、あまりなじみのない者にはお顔をお見せになることもなく、  
う、侍女などはもちろん、すこし離れたところにいる者にはお顔が見えることもなく、  
え、侍女などはもちろん、すこし離れたところにいる者には男の子だとはお見えにならず、  
傍線部イ〜エの敬語について、誰から誰への敬意を示すか。次の中から一つずつ選べ。(各完答二点)  
あ、若君 い、姫君 う、女房 え、父殿 お、母上 か、御乳母 き、筆者 く、読者 け、童

問四 傍線部イ〜エの敬語について、誰から誰への敬意を示すか。次の中から一つずつ選べ。(各完答二点)  
あ、若君 い、姫君 う、女房 え、父殿 お、母上 か、御乳母 き、筆者 く、読者 け、童

問五 傍線部七を現代語訳せよ。その際、主語と「さ」の示す内容を明らかにして書け。(四点)

問六 傍線部八について、父殿がそのように思った理由を、二人の子の性質を踏まえて簡潔に書け。(五点)

問七 この作品と同じジャンルのものを、次の中から一つ選べ。(一点)  
あ、伊勢物語 い、大和物語 う、栄花物語 え、梁塵秘抄 お、夜の寝覚